



CONTENTS

わが町ぶらり散歩 表紙

7区通信／就業先情報（南区） 3

実績報告・事故報告／事務局からのお知らせ 10

互助会だより 11

ちょっといいはなし／編集後記 裏表紙

シリーズ **わが町ぶらり散歩** 52

～博多祇園山笠発祥の地～ **承天寺** (博多区)

季節が秋から冬に変わり始めるころ、博多区の主立った寺社がライトアップされる「博多ライトアップウォーク博多千年煌夜」が始まります。

今回は、この催し会場の一つである承天寺に足をはこんでみました。



承天寺の仏殿「覚皇殿」



ライトアップされた「覚皇殿」

承天寺は、鎌倉時代の1241年（仁治2年）に公家の高官である大宰少弐・武藤資頼が臨済宗の僧・円爾を招聘し、宋出身の貿易商・謝国明の援助を得て創建されました。

境内は市道によって北東と南西に分かれていますが、これは博多駅移転に伴う区画整理事業によって通されたもので、山門や仏殿は南西側、本堂や墓地などは北東側に分断されています。この市道は承天寺通りとよばれ、通りには寺社町エリアへのウエルカムゲートとして、平成26年3月に博多千年門が建造されています。

北東側本堂「方丈」の前には、玄界灘を表現した白砂と中国大陸を表現した緑がある枯山水の庭園「洗滌庭」があります。一般には未公開ですがイベント時などには中に入ることができます。



承天寺の本堂「方丈」と庭園「洗滌庭」

中門が開いている時は、門外から眺めることは可能ですが、博多千年煌夜ではライ

※2ページに続く

トアップされ、
きらびやかで
幻想的な空間
が味わえます。



ライトアップされた「洗滌庭」

博多祇園山笠は、博多に疫病が流行し

た際、承天寺の開祖であり当時の住職である円爾が、町民に担がれた木製の施餓鬼棚に乗り水をまきながら町を清めてまわり祈祷して病魔を退散させた事に由来すると言われていています。現在でも、承天寺は櫛田神社、東長寺と並び「清道」とよばれる山笠の大事な場所に指定されており、昇き山が「勢い水」を浴びながら博多の街を走り抜け、承天寺前の細い道をぐるりと巡って男衆が住職に一礼するという形をとっているのもその歴史を受け継いでいるからです。



山笠発祥之地碑

円爾は当時の中国・宋に渡り羊羹、饅頭、うどん・蕎麦などの製法とともに、製粉技術も日本に持ち帰りました。この製法・製粉技術により、日本の粉食文化が大きく発展したと言われてい



饅頭・蕎麦発祥之地の碑と
御饅頭所の碑

ます。これらの功績により円爾は逝去した後、花園天皇から国師号を与えられ「聖一国師」と称されました。

また、博多の商人・満田弥三右衛門

は、円爾と共に宋に渡り、織物、朱、箔、素麺、麴香丸の5つの製法を修得して博多の人々に伝えました。その中、織物技法だけは家伝とし、「広東織」と称して独自の工夫を加えています。その後、永い歳月を経て、子孫によりさらに研究と

改良を重ねられ、名称については、中国における博多の呼称のひとつ「覇家台（はかた）」を取って「覇家台織」つまり「博多織」と名付けられたと伝えられています。後に江戸時代になって福岡藩初代藩主・黒田長政が幕府への献上品としたことから「博多献上」「献上博多」「献上」とも呼ばれるようになりました。



博多織の始祖
満田弥三右衛門の碑

承天寺の境内には、オッペケペー節で一世を風靡した新派俳優・芸人の川上音二郎の墓もあり、庶民の博多の歴史を伝える上でも大事な寺院でもあります。

皆さんも寺社町エリアの承天寺を訪れ、それぞれの起源に触れ歴史をひもといてみてはいかがでしょうか。

なお、今年の博多ライトアップウォーク博多千年煌夜は、11月23日（水）から27日（日）まで計画され、今回紹介した承天寺のほか櫛田神社、東長寺、妙楽寺など合わせて8つの寺社がライトアップされる予定です。



承天寺位置図

(参考資料)

- ・ホームページ
- ・福岡市の観光スポット
- ・博多ライトアップ
ウォーク博多千年煌夜 他

●役員会開催



8月23日（火）役員会が各地域班長及び職群班長の出席で10時から出張所会議室において開催されました。

広田委員長の挨拶の後、平成28年7月末までの活動状況報告があり、会員数が前年同月比1,224人から1,222人と2人の減、就業率は62.2%、配分金は1億332万円で130万円増になっているとの報告がありました。

会員数が減少傾向にあり、対策として1会員1新入会員獲得運動が実施されており、会員の協力を要請されました。

加藤副委員長から安全・適正就業に関し、東出張所内の事故は7月末まで傷害事故1件、賠償事故3件、合計4件発生しており、十分な注意を払うように要請されました。

また、今後行われる地域懇談会、普及啓発活動街頭キャンペーン、東区秋の交通安全県民運動や互助会の1日バスハイクなど各種行事への参加依頼がありました。

●筥崎宮放生会



春の博多どんたく・夏の博多祇園山笠とならび博多三大祭りに数えられる筥崎宮放生会は「万物の生命をいつくしみ、殺生を戒め、秋の実りに感謝する」お祭りです。

その起源は「合戦の間多く殺生すよろしく放生会を修すべし」というご神託によるもので、千年以上続く最も重要な神事です。9月12日～18日に開催されており、参道一带に約500軒の露店が立ち並び、九州随一の秋祭りです。

東出張所からは筥崎宮に6名の会員が交代で就業しており、境内の清掃、草取り作業、ゴミ収集作業を行っています。放生会初日に伺い、あいにくの雨の中でしたが、清掃作業をされていました。外間会員から「放生会と正月の間は大変忙しいですけど、筥崎宮がきれいになることに満足感があります」とのことでした。

東出張所では、筥崎宮の就業者を数名募集していますので、ご希望の方は事務所に問い合わせくださいとのことです。

●東区秋の交通安全県民運動に参加



9月21日（水）15時から東区秋の交通安全県民運動が東区交通安全推進協議会・東福岡交通安全協会・東警察署・東区役所の主催でJR千早駅前の「なみきスクエア（東市民センター）」エントランスにて行われました。

この運動は、県民一人ひとりに交通安全意識を普及し、交通安全思想の高揚を図ると共に、正しい交通ルールの遵守と交通マナーの向上により、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

主催者の挨拶後、アトラクションに上野國廣会員による交通安全啓発の博多にわか披露されました。

東出張所からも駐輪場就業者をはじめ、46名が参加し、千早駅前広場や市民センター周辺で、啓発チラシ等を配布し、交通安全の徹底を訴えました。

●住吉・東住吉・美野島地域懇談会開催

8月10日（水）午前10時から、住吉公民館において、住吉・東住吉・美野島地域懇談会が開催されました。



始めに、吉原東住吉班長、白木住吉班長、谷口美野島班長の挨拶の後、参加者全員の自己紹介と古賀委員長の挨拶が行われました。

古賀委員長の挨拶では、現在、会員を増やす取り組みとしてチラシの配布を行っているが、会員の皆さんにもご協力をお願いしたい。また、出張所での土曜サロンを復活したので、読書や囲碁・将棋などの趣味のある方は活用してください。などの発言がありました。

次いで、坂稲・廣瀬両副委員長の挨拶があり、坂稲副委員長から博多出張所配分金ベストテン及び地域会員の就業状況について説明があった後、古賀委員長から安全・適正就業に関して、ロコモティブシンドローム（日常生活に必要な身体の移動機能の低下）をなくすためのトレーニング（ロコトレ：片脚立ち）の実践が行われました。

最後に会員からの質問、要望、提案があり、①人手不足の解消や生涯現役という観点から就業年限・年齢の撤廃を考える時期ではないか。②チラシを配布するときに就業先の情報もつけたらどうか。など活発な意見交換が行われました。

●筆耕班勉強会開催

8月17日（木）に筆耕班の勉強会を訪れました。



会場では、宿題の『はがき』と『封書』の作品が掲示されていました。

徳丸班長の挨拶の後、作品の検討が始まります。大変なごやかで、しかも真剣な雰囲気の中で、作者との意見交換や細やかな指摘が行われました。

『はがき』や『封書』の作品の場合は、住所と宛先の文字数を考え、空間を考慮して住所を二行にする工夫や、会社名・氏名をいかに配置するかなどの検討が行われました。

現在、筆耕班は10余名で、本部主催の判定会で合格すると、仕事ができる仕組みですが、仕事を得るためだけの筆耕ではなく、趣味として筆に親しむのも豊かな人生の過ごし方だと思いました。

皆さんもこれからの人生を豊かにするため、筆耕班に参加しライフワークのひとつに加えてはいかがでしょうか！

●地域班長会議開催

～会員獲得に議論白熱～



8月22日（月）午前2時から博多出張所会議室において、地域班長会議が開催されました。

始めに、古賀委員長の挨拶が行われ、会員を増やす取り組みとして入会勧誘パンフレットをマンション等に配布しているの、ご協力をお願いしたい旨の発言がありました。

次いで、坂稲副委員長から区運営委員会の報告があり、ここでも、会員を増やす取り組みが議論され、各種会議や公民館での集まりの際に入会勧誘パンフレットを配布するなど、4つの事項が了承された旨の説明がありました。

引き続き、28年4月から7月までの経過報告があり、古賀委員長から「職種別配分金比較表」及び「区別・時間別就業状況」の説明が、坂稲副委員長から「派遣就業」の説明が行われた後、地域班長の自己紹介、地域班長との意見交換が行われ、会員獲得や就業の問題点などについて白熱した議論のなかで会議を終了しました。

なお、今回出席された班長さんには、配付のための入会勧誘パンフレットを持ち帰りいただきました。

●博多出張所の行事予定

○ 女性会員の集い

日程等 11月7日（月）

受付開始 12時30分 開会 13時

会 場 博多市民センター視聴覚室（博多区山王1-13-10）

申込み 11月1日（火）まで

博多出張所に申込用紙、電話またはFAXでお申込みください。

○ 親睦日帰り旅行

行き先 ぶどうの樹（遠賀郡岡垣町）

日程等 11月10日（木） バス2台

11月14日（月） バス1台

参加費 3,200円

申込み 10月31日（月）午後5時まで

博多出張所に参加費とともに申込みください。

広報委員 白石 寛治

●夏場の公園清掃について

8月24日（水）に、中央区須崎公園で作業中の奥田英和班長並びに日高副班長、関口安全担当に、この夏場の公園清掃についてお聞きしました。須崎公園ではこの日会員20名が清掃作業に当たっていました。3人の話によると、作業は刈払、除草、清掃などですが、過去に刈払機による重篤事故の経験があるだけに、1台の刈払機に1名の安全担当を配置し、防護ネットを張るなど基本を忠実に守り、事故防止に努めました。



また、この夏の異常な猛暑に、熱中症対策として適度な休憩と水分補給に気を配りました。その結果、幸いにも会員並びに公園利用者的一切の事故や被害もなく、市民とのトラブルもありませんでした。市民からは「お疲れ様です」との声を戴くなど、清掃作業に理解を示す方も多く、やりがいのある仕事だと感じております。今後も引き続き事故撲滅を目指して、会員一人一人が気持ち一つにして努力していきたいと、強い決意が述べられました。また、瀏野公園担当からは、安全はもとより、竹箒をプラスチック製に変えるなど、作業効率、費用効率の改善にも努めている旨の話がありました。



左より日高副班長、奥田班長、関口安全担当

今後の課題は担当会員を如何に増やすかということで、常時希望者を募集しているとのこと。男女を問わず、希望者はぜひ中央出張所までお問い合わせください。

●「平成28年8月度役員会」開催

8月26日（金）午前10時より、中央出張所会議室において、平成28年8月度の役員会が開催され、会議では7月末までの配分金実績や事故件数、就業開拓、地



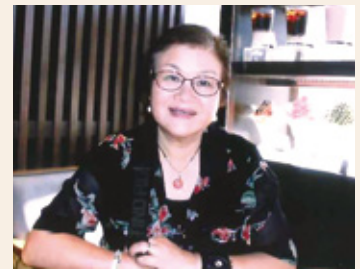
域懇談会の在り方などについて資料に基づき詳しい説明がなされました。

渡辺委員長は今後の課題として、未就業者をいかに減らすか、そのためのワークシェアリングが必要だと述べられました。

また、この日は中部センター乙丸所長より、最近発生した駐輪場における利用者とのトラブルについて詳細に説明があり、冷静な対応と基本的な接客マナーの必要性を強調されました。

●元気で活躍・藤井昭子会員

家事班リーダーとして元気で活躍中の、藤井昭子会員をご紹介します。



藤井会員は入会後様々な仕事を

を経験されてきましたが、中でも印象に残っている仕事があると話されました。

保育園男児をお迎えに行く仕事では、10分間ほど手をつなぎ、両親のこと、保育園のことなどを話しながら帰る時には本当に心癒されました。そして、私のことを「フジイさん」と呼んでくれた時は感動でした。

ワンコインの仕事では、「ありがとう、助かりました」の声に励まされ、私も「ありがとうございました」と心を込めてお返事をしました。読書や映画を観ることも好きですが、好奇心、探求心旺盛な私はサークル活動にも積極的に参加しています。「手芸の和楽」、「仲良し料理教室」に参加して、様々な経歴や特技を持った人たちに出会えることは楽しいものです。

また、家事班リーダーの役も負わされていますが、女性会員の皆様に本当に役立っているのか今一不安です。私としては、こうして就業できるのは、健康第一に元気で過ごしているからだと思います。これからも健康に気を付けて、会員の皆様と共に頑張っていきたいと思っています。

間もなく74歳になる私を見てください!!

広報委員 大津 英世

●安全・適正就業促進大会

7月21日(木)午後1時から、高宮のアミカスホールにおいて会員91名が参加して開催されました。



児嶋安全・適正就業担当の司会進行で大会に先立ち、各ご来賓の紹介のあと、平田委員長から、会員は年齢を忘れがちであるが、しっかり自覚して安全第一で就業に当たって頂きたいと挨拶があり、続いて桑田常務理事の挨拶。岡崎監事の挨拶では今年度、南出張所は無事故です。素晴らしいと賛辞がありました。江口専任担当理事からは、二つの事を、守って頂き無事故で安全な作業を守ってほしいと話があり、最後に安全スローガン「安全は、全ての作業に優先する」「慌てず急がず、一つひとつを丁寧に」を出席者全員で唱和しました。

15分間の休憩時間をはさみ、記念講話は、福岡県介護保険課課長補佐堤様より「みんなで支える介護保険」介護保険の仕組みとサービス・利用について、将来問題に直面したときに役立つ講演があり、大会は終了しました。

●福祉・家事援助班全体会議



7月29日(金)午後1時30分から、平田委員長・桑原副委員長、本部から樋口担当専任理事・岡崎監事と会員31名が出席して開催されました。

原家事班リーダーの司会で阿部家事班班長の開会あいさつのあと、平田委員長の挨拶で日頃の作業について、労いの言葉と健康第一で作業に取り組んで頂きたいと話がありました。岡崎監事からは、精神的な健康面を大事にして頂きたいとあいさつがありました。

続いて、樋口専任担当理事から家事援助の就業にあたって、作業内容の可・不可について詳細な説明で、会場は水を打ったように静まり聴き入っていました。

引き続き、グループに別れ意見交換。グループ毎に飛び交う質問・意見の交換で会場は、流石『現役』女性のパワフルさを感じさせられました。

10分間の休憩を挟み、各グループ代表から問題点などの発表。質疑応答。

最後に桑原副委員長から連絡事項あり、阿部家事班班長の閉会のことばで、会議は終了しました。

●南区長丘一丁目夕涼みの会

8月27日土曜日、薄曇りのなか「夕涼みの会」は、自治会長の挨拶で始まりました。

イベントは、プロ芸人「ムーミンクラブ」の歌と朗々と歯切れのよい話芸でスタート。会場が和みはじめた頃、南区シルバー「日向ひょっこ踊り愛好会」の登場。片目が大きく、口のとがった男の仮面やお多福お面をかぶり、面白可笑しく巧みな手足の捌きで滑稽な踊りが始まりました。滑稽な仮面に派手な

衣装は、詰めかけた客の目を奪い一斉にカメラを構え、ここぞとばかりシャッターチャンスを狙っていました。



舞台を降り踊りながら練り歩くメンバーの姿に集まったお客は興奮し、最高潮に達しました。

汗びっしょりで踊り続けること30分、歳を感じさせないタフさに会場から盛大な拍手を貰いました。満足感に満ちあふれた「日向ひょっこ踊り愛好会」の皆様です。

メンバーの皆さん、これからも健康に留意され踊り続けて頂きますよう、願っております。

就業先情報

●一般社団法人 喫茶ポエム福祉作業所様



9月10日(土)南区若久団地の一角にある、「喫茶ポエム福祉作業所」を訪問し、所長の橋口千寿子様に、お話を伺いました。

喫茶ポエムは、平成16年6月1日の設立で、喫茶店という飲食店を通して、一般社会生活の中で交流を育て、障がいのある人もない人も、積極的に自己表現する『交流できる場・憩える場・夢を語れる場』を目指して、スタッフ8名と障がい者の方が元気いっぱい頑張っています。

入口から店内に入るまで、ゆるやかなスロープとなっており、足が不自由な方や高齢者にも安心して、ご利用になれる造りになっています。



店内では、作業所で作られる籠や石鹼、ケーキやクッキーが販売され「チーズケーキ(150円)」「クッキー(100円)」が大人気。昼食時には日替わりランチがワンコインの500円でいただけるので、周辺のお客様で賑わっています。

食後のコーヒー&ケーキセットは格安の250円で、女性に大好評とのこと。

「喫茶ポエム」では、シルバー人材センターと派遣契約を結んでおり、調理師として男性1名が就業しています。その料理の味は絶品で、お客様から美味しいと喜びの声に、橋口所長様からお褒めと感謝の言葉をいただきました。

広報委員 水田 國生

●28年度『地域懇談会』開催



28年度の地域懇談会が9月15日（木）に別府 AB・鳥飼・城南 AB・七隈 AB・金山 AB の9地区、16日（金）に堤・堤丘・長尾・片江・南片江 AB・田島 AB の8地区に分けて城南市民センターで開催されました。参加会員は両日合計で151名でした。

出張所から永富委員長、東副委員長、藤村副委員長、高浪安全・適正就業担当、富永・平川・友廣の各業務担当が、中部センターから乙丸所長・村田公共担当が参加しました。

永富委員長が7月までの事業活動報告を行い、高浪安全・適正就業担当から事故内容の報告がありました。



10月以降の行事案内に引き続き、27年度決算データをもとにシルバー人材センターの将来像について永富委員長が報告、「城南出張所を区内にできるだけ早く移転したい」と述べました。

その後、『ドライレコーダーの証言—危険予測を学ぶ—』のDVD鑑賞と11月の親睦旅行のPR写真が紹介されました。

休憩をはさみ、参加会員との意見交換がなされました。

意見交換では、「出張所の移転の話は夢のある話だ。もっと内容を知りたいですね」「中部センターは何名体制で運営されているのですか」「時給772円の配分金は安いのではないのでしょうか」「剪定に興味ある方を募集しています。特に60歳代でやってみようという方は大歓迎です」「笹台の清掃に参加しましたが、倍の時間がかかった。きちんと仕事内容を把握してほしい」など多くの意見が出されました。

これに対し永富委員長から一つ一つ丁寧にお答えしました。

これに対し永富委員長から一つ一つ丁寧にお答えしました。

●公共刈払班訪問

“安全就業”で事故ゼロ更新中です!!

今回は、永年、安全就業に努め事故ゼロを更新中の公共刈払班の就業現場を訪問しました。

同班は迫盛寛班長以下11名の会員で構成されており、城南区内の公園緑地の除草・刈払の委託業務を行っています。

委託を受けている公園緑地は梅林緑地公園・東油山公園・片江中央公園・三尾池公園の4カ所で、5月から10月の6ヶ月間で1緑地を3回隔月で回ります。



先般、9月13日には梅林緑地公園の刈払・除草を行いました。当日は除草班の応援も得て総勢16名が作業にあたりました。

午前8時に集合し点呼と道具の点検など安全確認を行い、同8時半から業務がスタート。同9時半の休憩時に、中部センター乙丸所長が現地を訪れ「酷暑の中ご苦労様です。永年の事故ゼロに感謝しています。安全就業にさらにご尽力ください」とねぎらいました。休憩のあと、各会員は前日の雨にぬかるんだ場所にもめげず業務に戻りました。



迫班長によると「刈払の仕事は一つ一つ指示を出すタイミングが難しい」「天候の急変はもちろん雑草の伸び具合や落葉の量など、現場でなければ判断がつかないことが多い」「業務の段取りには苦労します」「刈払は石飛ばしなどの事故が起きやすいが、私がこの公共刈払班の業務を引き継ぐ前から、ずっと無事故です。もう10年を超えて事故ゼロじゃないかな」と、にこやかにお話いただきました。



広報委員 橋本 修一

●「防災講習会」開催

7月15日（金）午前10時から、早良市民センターで、「平成28年度安全・適正就業促進大会」が、会員80名が参加して、小田安全担当の司会進行により開催されました。



まず、波多江委員長の挨拶と出張所の事業報告がありました。

次に、本部から出席された倉岡専任担当理事・井上専任担当理事・宮川業務企画課長・岡崎監事の挨拶がありました。

休憩を挟んで、早良消防署の林予防係長から、「防火・防災・救急」についての講習がありました。講習の中で、特に強調されたのは救急車が来るまでに出来る「応急手当の方法」です。



傷病者が発生したら、①まず、その反応を確認する②反応しない場合は、周りに助けを求めて救急車を呼ぶ③胸と腹部の動きで呼吸をみる④胸骨を圧迫する（5cm位が沈み込む程度に強く・1分間に100回以上と速く・絶え間なく30回以上）⑤気道を確保する⑥場合によっては「人工呼吸」をする⑦心肺蘇生法（30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸のサイクル）を繰り返す。また『AED』取り扱いの学習は、これからの生活で有効に活用出来そうです。

最後に、林係長は災害に備えて、避難する時に持ち出すために次の様な必需品をリュックに詰めて玄関等に置いておくことを話されました。

非常食（乾パン・缶詰等）・飲料水・携帯ラジオ・懐中電灯・現金・貴重品（通帳・印鑑等）・健康保険証のコピー・携帯電話（非常用電源）・ビニール袋・衣類・軍手や防災ずきん・ライター（マッチ）・ナイフ・缶切・ティッシュ・タオル・救急医療品や常備薬等。

また、災害復旧までの数日間を生活するために、少なくとも3日は自力で生活出来るだけの量を準備しておくことが望ましいとの助言がありました。

●地域班長会開催

8月23日（火）午前10時から、出張所会議室で波多江委員長をはじめ地域班長22名が出席して、小松副委員長の司会進行で開催されました。



まず、波多江委員長から次のような報告がありました。

- ① 役員交代 小田部地区→松本喜久雄会員
西新地区 →安部啓子会員
- ② 事業推進状況（4月～7月）

配分金実績は、前年比99%と前年並みで、市全体では101%となっています。伸びている職群はチラシ配布等の外務関係や施設管理関係で、ショートしている職群は家事援助や屋内作業等です。市全体では市営自転車駐車場管理が伸びています。会員数は1,062名で市全体では6,870名です。就業率は54%で市全体は56%となっています。男女構成比は男性65%・女性35%です。事故は1件と少なく、昨年比4件減です。賠償事故・自動車事故は0件で傷害事故が1件発生しています。市全体では23件で昨年比3件増となっています。

ワンコインお助け隊事業は338件で、作業内容は100円作業ではほとんどがゴミ出しで、500円作業では買物でした。

最後に、次のような連絡がありました。

- ・9月23日（金）の午後に、早良市民センターで「女性会員の集い」が開催されます。
- ・会員旅行は11月24日・25日に予定しています。
- ・健康診断の受診報告の提出をお願いします。

●地域懇談会開催日程

今年度の地域懇談会は次のように開催を予定しています。

飯倉地区…9月15日（木）、四箇田1・2…9月21日（水）、大原1・2…10月5日（水）、内野1・2…10月6日（木）、田隈1・2…10月13日（木）、入部・早良…10月21日（金）有田1・2…10月26日（水）、飯倉2…11月9日（水）、野芥1・2…11月11日（金）、原…11月16日（水）、原西1・2…12月7日（水）

終了した地域もありますが、多数の参加をお願いします。

広報委員 高橋 勉

●シルバー人材センターの活動が「新修 福岡市史」に



福岡市では平成16年より貴重な歴史資料の継承を目指して、「新修 福岡市史」を編んでいます。その中の「民族編二ひとと人々」のな

かで、市民生活の多様な側面の一環として超高齢者社会のなかのシルバー人材センターの活動を、「シルバー人材センターをめぐる人々」で紹介しています。執筆されたのは、民俗専門部会専門委員で九州大学大学院比較社会文化研究院の松本教授です。教授は、平成26年にシルバー人材センター西出張所に聞き取り調査にこられ、西出張所の全面協力のもと、福岡市シルバー人材センターの概要とシルバー人材センターの活動の一例として、福祉施設の現場の事例を紹介しています。

それには、西区にあるNPO法人の「今山を守る会」理事長の苗村様が、平成15年に障がい者施設を立ち上げた経緯やシルバー人材センター西出張所を利用した事情、その時の西出張所の委員長や家事援助担当の働きや役割、そして実際に「今山を守る会」のグループホームで就業している会員の活動状況と気持ちを、三者の関係のなかで詳しく、生き生きと紹介されています。編さんされた「新修 福岡市史 民族編二ひとと人々」はシルバー人材センター西出張所や図書館に寄贈されていますので、ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。



福岡市シルバー人材センター西出張所委員長・城千賀男さん(右)と副委員長・伊藤榮子さん(左)

●第1回地域班長会議開催

平成28年度、第1回の地域班長会議が8月26日(金)、西出張所会議室で城委員長はじめ地域班長が出席して開催され、次の報告がありました。

○事業実績では会員数(28年8月)が1,042



名(男性682名、女性360名)、就業会員数は619名(男性402名、女性217名)で就業率は59.4%です。28年4月から7月までの配分金実績は8千2百万円、前年比111%で、主要因は九大学研都市駅駐輪場運営です。

- 合同地域懇談会開催のお知らせ
- シルバーフェスティバルのお知らせ
- 自転車保管所就業会員募集について
- 事故発生状況(平成28年7月末)は傷害事故3件、賠償事故3件、自動車事故0件、計6件でした。

●姪浜駅駐輪場全体会議開催



平成28年9月16日(木)、17日(金)、午前10時から西出張所会議室で姪浜駅駐輪場の全体会議が開催されました。会議は西部センター桃崎所長の挨拶の後、大西リーダーの司会進行で行なわれました。まず事前に開催された業務改善会議の報告が、それぞれの担当者から会員との質疑応答の形でありました。次に長期滞留自転車の取扱いについて、大西リーダーから作業手順の資料をもとに説明がありました。また姪浜駅高架工事に伴う駐輪台数減対策の説明があり、利用者への丁寧な対応について話がありました。その他の業務に関しても会員の活発な意見交換がありました。

広報委員 佐藤 令史

平成28年度 実績報告

平成 28 年 8 月末現在

●会員数	6,835名	●就業者	4,350名
男性	4,372名	●就業率	63.6%
女性	2,463名	●事業収入	9億6,143万円

平成28年度 事故発生状況

平成28年8月末現在

傷害事故 11 件、賠償事故 11 件、自動車事故 4 件、合計 26 件：前年同月比+2件

傷害事故11件中、足元の状況をよく確認しなかったことによる転倒（階段での足の踏外し、段差でのつまずき、濡れた廊下での滑りなど）が8件でした。ふとした気の緩みが事故につながっています。慣れた場所であっても、周りの状態をよく確認するよう心がけましょう。

刈払機による石飛事故が6件となりました。いかなる状況でも防護ネットは不可欠です。

なお、刈払班の皆様には7月に替刃テストのご協力を頂きました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。テストはナイロンカッター及びチップソーそれぞれの改良型で行いました。前者は、切れ味は良く石飛は少ないが刈払機への装着に時間を要すとの評価。後者は回転数が少なくても切れ味が良く、石飛は少なく操作性も問題ないとの評価でしたのでこちらのタイプの替刃を提供することにいたしました。従来の刃と使い分けてご使用ください。

平成 28 年度会費の口座振替について

シルバーだより8月号（第149号）でお知らせしましたとおり、9月20日に会費の口座振替を実施しました。預金残高の不足などで口座振替ができなかった方を対象に、下記の日程で再度口座振替を実施します。振替日の前日までに、登録の預金口座にご入金をお願いいたします。

◎口座振替日 平成28年11月21日(月)

■■ 会費の口座振替「未登録」の方へ ■■

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めをお願いいたします。

口座振替の登録をすると、配分金等の払込口座から会費を納入することができます。金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。口座振替の登録を済ませていない方は、是非ご登録ください。

健康診断を受診し、安全に適正な就業をしましょう！

シルバーだより4月号（第147号）に同封しました「健康診断の受診報告」の提出は、お済みでしょうか。健康診断を受診し、健康状態を確認することで、会員の皆様には、安全かつ適正な就業をしていただきたいと考えております。

会員の皆様が健康で安全に就業されることは、ご本人にとどまらず、ご家族の幸せにも繋がります。趣旨をご理解の上、受診報告へのご協力をお願いします。



※会員のひろばは今回お休みさせていただきます。みなさまのご投稿お待ちしております。

歴史探訪「博多まち歩き」



1. 文明開化のまち歩き「川端・中洲水鏡天満宮・川端植地蔵尊人コース」…40名
 2. 歴史と風情のまち歩き「櫛田神社・承天寺・博多千年門・ふるさと館コース」…79名
 3. 博多の今昔・にぎわいまち歩き「萬行寺・キャナルシティ博多コース」…35名
- の3コース計画で、154名の会員様に応募頂き本当にありがとうございました。

9月28日(水)午前9時30分、永富互助会会長・神園代表幹事、互助会業務委員7名と、シルバー会員140名が冷泉公園に集合しました。

福岡北部地方に「大雨警報」が発令され、福岡観光コンベンションビューロ様より、ボランティアガイド派遣中止の連絡が入りました。残念でしたが、ガイドが付かない歴史探訪は意味がないということで、やむを得ず中止することになりました。

来年度は、好天氣に恵まれますことを、心より願っております。

互助会代表幹事 神園 久



互助会主催「芸能大会」のお知らせ

会 場 ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）
福岡市中央区荒戸3丁目3番39号

開 催 日 平成29年1月25日（水曜日）



出演申込み等、詳細は次回シルバーだより12月号でお知らせします。

ちょっと

いいはなし



南区役所 区長様

8月31日午前8時50分ごろ、南区の野間四角交差点で信号待ちをしていたところ、自転車で走って来た学生が私の右肩に当り、転倒してしまいました。買い物袋を落とし品物が散乱、そこへシルバーの街頭指導員の方が駆けつけ、手助け頂きました。軽い怪我でしたが、近くのコンビニでキズテープを買い処置して頂き、感謝しております。とっさの出来事で、お名前を聞くのを忘れましたが、本当にありがとうございました。

今の若い人と街頭指導員の方との、態度や道徳心の違いを強く感じました。先ずは、お礼の一筆です。 南区野間在住 79歳 女性 より



☆住みやすい街・環境づくりに努力されている街頭指導員。ご自身の正義感からとっさに取った行動が生み出した、気遣い・心遣いへの感謝お礼の葉書が寄せられました。街頭指導員の皆様に、心より拍手をお送りいたします。



～シルバーだより150号に～

本日お届けしましたシルバーだより10月号は創刊150号になります。

1983年（昭和58年）12月の創刊以来、「きっと、もっと、これから」をキーワードに、会員の皆様との情報交流・共有の機関

誌として発行してまいりました。

シルバー人材センターの業績や就業状況、安全促進などの情報を提供し、貴重なご意見も頂戴いたしました。また会員の皆様からの写真や書画、随筆、俳句、川柳などの作品も随時発表し、楽しい紙面にさせていただきました。

「シルバーだより」は今後とも留まることなく、会員の皆様との間を結んで参ります。

是非ともご拝読いただき、ますますのご支援とご協力並びに情報提供をお願い申し上げます。

（広報委員一同）



「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やご質問、お便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org